

学習計画（シラバス）

教科	科目	対象学年	単位数	教科書 著書・発行所	使用教材・発行所
地理歴史	歴史総合	1	2	歴史総合 新訂版 むすびつ世界と日本 木畑洋一 成田龍一ほか21名（実教出版）	日本史のアーカイブ（とうほう）
指導の重点	近現代の歴史の変化について、世界とその中の日本を広い視野から捉えて、現代の諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚や資質を養う。				
評価の観点	知識・技能	近現代の歴史を学ぶ中で、現代社会の諸課題の形成について理解し、資料から歴史に関する情報を適切かつ効果的に調べま とめる技能を身に付ける。			
	思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代などや現在とのつながりに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。			
	主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象については、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。			
学習の評価	<ol style="list-style-type: none"> 1 定期考査や小テストで「知識・理解」「思考・判断・表現」を評価する。 2 授業中のペアワークやグループワーク、発表、提出レポート等で「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 3 課題提出で「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 4 上記の1～3で総合的に年間の評価を行う。 				
学期	単元	学習内容		学習の目標	
1 学期	歴史の扉	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史と私たち ・歴史の特質と資料 		<ul style="list-style-type: none"> ・空間的な広がりや自己との関係性を意識した学習へと視野を広げる。 ・現代に生きる生徒が、過去の事象を考察するために、資料を活用する学習を通して、歴史の叙述には、諸資料の検証と論理性などが求められることに気づく。 	
	近代化への問い	<ul style="list-style-type: none"> ・産業革命が生み出した変化 ・都市人口の推移 ・80日間で世界一周 ・増える移民 ・自由を求めて ・新聞の発行の変化 		<ul style="list-style-type: none"> ・中学までの学習及び「歴史の扉」の学習をふまえ、諸資料を活用して情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、人々の生活や社会のあり方が近代化にともない変化したことについて考察するための問いを表現できる。 	
	近代化への胎動	<ul style="list-style-type: none"> ・17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 ・江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ・江戸時代の生産・流通と諸改革 		<ul style="list-style-type: none"> ・17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出の動きとの関係を理解する。 ・17世紀を通じて東アジア体制を理解する。 ・商品作物の生産と流通は、国内外にどのような影響を与えたか考察する。 	
	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	<ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパの主権国家体制の成立 ・イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡 		<ul style="list-style-type: none"> ・中世ヨーロッパ秩序の崩壊と、主権国家体制の確立を理解し、17世紀以前のヨーロッパの「国家」について考察できる。 ・イギリス産業革命やアメリカ独立戦争を理解する。 ・フランス革命とウィーン体制による政治体制の変化を理解する。 ・アヘン戦争の影響を理解し、日本の開国とその影響について考える。 	
2 学期	欧米諸国と日本の国民国家形成	<ul style="list-style-type: none"> ・イギリスフランスの繁栄とイタリヤ・ドイツの統 ・明治政府の諸改革 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本帝国憲法 		<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀後半のイギリス・フランス・イタリヤ・ドイツの政治上の動きを理解する。 ・明治政府が進めた国づくりを理解し、民衆が明治政府の政策をどのようにとらえていたか多面的・多角的に考察することができる。 ・明治政府が清や朝鮮とどのような関係を築いてきたか考え、日本の北方と南方の国境の問題や明治政府の台湾・琉球政策について考える。 ・自由民権運動がめざした国家を理解し、明治政府の方針や立憲国家の成立について考える。 	
	帝国主義の時代	<ul style="list-style-type: none"> ・帝国主義の時代へ ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動 ・日本の産業革命 		<ul style="list-style-type: none"> ・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアの政治と社会を理解する。 ・19世紀から20世紀初頭のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係を多面的・多角的に考察し表現できる。 	
	国際秩序の変化や大衆化への問い	<ul style="list-style-type: none"> ・二度の世界大戦で犠牲になった人々 ・世界大戦後の国際秩序 ・世界大戦とアジア・アフリカの関わり ・女性の参政権 ・大量生産・大量消費の影響 		<ul style="list-style-type: none"> ・中学までの学習並びにこれまでの学習をふまえ、諸資料を活用して情報を読みとったりまとめたりする技能を取得し、私たちの生活や社会のあり方が国際秩序の変化や大衆化にともない変化したことについて考察するための問いを表現できる。 ・国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料から情報を読みとったり、まとめたりする技能を身につける。 	
	第一次世界大戦と大衆社会	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の成立。 ・米騒動とデモクラシー ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 		<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。 ・大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを考察し表現できる。 	
	経済危機と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズムの時代 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争と戦時体制 ・第二次世界大戦の勃発と終結 		<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。 ・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できる。 	
	グローバル化への問い	<ul style="list-style-type: none"> ・軍事費の推移 ・Made in ○○とは？ ・災害と通信手段 ・人口増加と食料 ・増える二酸化炭素排出量 ・世界をめぐる病気 ・多様な人々が生きる社会 		<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用できる。 ・考察の結果、表現した問いを、続く単元の学習内容へと活かすことができる。 	
3 学期	冷戦と脱植民地主義	<ul style="list-style-type: none"> ・植民地の独立 ・米ソ両陣営の動揺 ・日本の国際復帰と高度経済成長 		<ul style="list-style-type: none"> ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解する。 ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較し、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し表現できる。 ・西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。 	
	多極化する世界	<ul style="list-style-type: none"> ・石油危機と世界経済 ・緊張緩和から冷戦の終結へ ・日本の経済大国化 		<ul style="list-style-type: none"> ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。 ・冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。 ・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けて、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し表現できる。 	
	グローバル化と現代世界	<ul style="list-style-type: none"> ・地域紛争と対立 ・国際秩序の変容 		<ul style="list-style-type: none"> ・冷戦後の地域紛争の原因を理解する。 ・歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。 ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現できる。 	